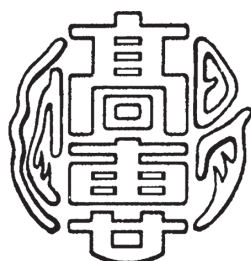


令和5年度
編 入 学 生 募 集 要 項
(学校案内を含む)



工業高校系

推薦選抜	出 願 期 間	令和4年7月 4日(月)～7月 7日(木)
	検 査 日	令和4年7月20日(水)
	合 格 発 表	令和4年7月27日(水)
	入学確約書提出期限	令和4年8月 3日(水)
学力選抜	出 願 期 間	令和4年8月 1日(月)～8月 4日(木)
	検 査 日	令和4年8月19日(金)
	合 格 発 表	令和4年8月26日(金)

普通高校系

学力選抜	出 願 期 間	令和4年8月 1日(月)～8月 4日(木)
	検 査 日	令和4年8月19日(金)
	合 格 発 表	令和4年8月26日(金)

独立行政法人 国立高等専門学校機構

有明工業高等専門学校

〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150

電 話 0944-53-8622

FAX 0944-53-8862

ホームページ <https://www.ariake-nct.ac.jp/>

事前通知

令和6年度編入学生募集から選抜試験を一本化します。

※令和5年度実施の編入学試験から変更

【変更前】

推薦選抜

出願資格

次の(1)又は(2)に該当し、下の推薦条件(ア)(イ)(ウ)(エ)を全て満たし、在籍学校長が推薦する者となります。

(1)工業高等学校を卒業見込みの者

(2)高等学校の工業に関する学科を卒業見込みの者

<推薦条件>

(ア)人物が優れていて、技術者としての適性が認められ意欲がある者

(イ)合格した場合、編入学することを確約できる者

(ウ)工業高校等における1学年から2学年までの全教科目成績5段階評定の平均が4.5以上(小数第2位切捨)の者

(エ)卒業時の専門科目修得見込み単位数の合計が25単位以上であること

選抜の方法

入学者の選抜は、推薦書、調査書及び面接(口頭試問を含む)の結果を総合して行います。

選抜時期

7月中旬頃

学力選抜

出願資格

工業高校在籍(出身)者は次の(1)又は(2)に該当し、普通高校在籍(出身)者は次の(3)に該当し、「人物が優れていて、技術者としての適性が認められ意欲がある者」とします。

(1)工業高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者

(2)高等学校の工業に関する学科を卒業した者又は卒業見込みの者

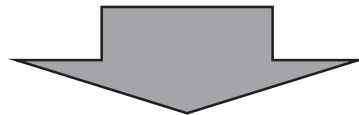
(3)高等学校の普通科及び理数科に関する学科を卒業した者又は卒業見込みの者

選抜の方法

入学者の選抜は、調査書及び学力検査(数学、英語、専門科目)の結果を総合して行います。

選抜時期

8月中旬頃



【変更後】

出願資格

次の各号に掲げる者で、学業成績・人物ともに優れており、技術者としての適性・意欲があると認めて出身学校長が推薦し、合格した場合、編入学することが確約できる者となります。

(1)高等学校を卒業した者又は卒業見込みの者

(2)中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者

選抜の方法

入学者の選抜は、推薦書、調査書、学力検査【工学基礎(数学及び理科の知識の応用)、専門科目】及び面接(口頭試問を含む)の結果を総合して行います。

選抜時期

8月中旬頃

【変更のポイント】

1. 推薦選抜及び学力選抜の2回実施していた選抜試験を一本化します。
2. 工業系の学校で学んでいない方も出願できます。

目 次

I	アドミッションポリシー（学生受け入れ方針）	
	求める学生像	1
	入学者選抜の基本方針	1
	選抜の方法等	2
	募集コース・編入学年・募集人員	2
II	系・コースの紹介	
	環境・エネルギー工学系	3
	人間・福祉工学系	4
III	工業高校系（推薦選抜）	
	1 出願資格	5
	2 志望コース	5
	3 願書受付	5
	4 出願手続	5～6
	5 選抜の方法	6
	6 面接当日の注意事項	6
	7 合格者発表	6
	8 入学確約書の提出	6
	9 推薦選抜に不合格となった人の学力選抜の取り扱い	6
	10 入学手続	6
IV	工業高校系及び普通高校系（学力選抜）	
	1 出願資格	7
	2 志望コース	7
	3 願書受付	7
	4 出願手続	7
	5 選抜の方法	8～9
	6 学力検査当日の注意事項	9
	7 合格者発表	9
	8 入学手続	9
V	出願上の注意事項及び入学志願票等記入要領	10～11
VI	入学者選抜における障害等を理由とした合理的配慮の提供について	11
VII	個人情報の保護について	12
VIII	入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合の注意点	12
IX	学校案内	
	IX-1 校訓	13
	IX-2 教育理念と学習・教育到達目標	13
	IX-3 教育課程	14
	IX-4 経費・免除制度・奨学金・学生寮	15
	IX-5 卒業後の進路	16～17
	IX-6 有明工業高等専門学校案内図	17

添付書類

- | | |
|--------------|----------|
| ① 推薦書（推薦選抜用） | ② 編入学志願票 |
| ③ 入学検定料振込用紙 | ④ 宛名票 |

I アドミッションポリシー（学生受け入れ方針）

求める学生像

本校では、本科5年間と専攻科2年間を有機的に連携させた教育プログラムを通し、幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性、多様性、学際性、国際性に富む実践的な高度技術者の育成を目指します。特に、人の営みから発生する課題や自然災害などがもたらす課題など人類が直面する大きな課題の解決に率先して取り組み、現代社会が抱える様々な課題を解決できるとともに、未来へ希望をつなぐ技術を創成できる技術者の育成を図るため、本校では専門、数学、英語の基礎学力のある高等学校卒業生等で次のような人を求めています。

- 1) ものづくりに興味がある人
- 2) チャレンジ精神がある人
- 3) 他の人と協力して作業ができる人
- 4) 物事を粘り強くやり続けることができる人
- 5) 社会に貢献したいと考えている人

入学者選抜の基本方針

《求める学生像》に合致した人を入学させるために、入学者の選抜は「推薦による選抜」と「学力による選抜」の2つの方法で行います。

◇推薦選抜

工業高等学校（又は高等学校の工業に関する学科）を卒業見込みで、在籍する学校長が責任をもって推薦でき、合格した場合は編入学することを確約できる人を出願の条件とします。在籍学校長から提出された推薦書と調査書により、人物及び基礎学力が優れていることを評価するとともに、面接（口頭試問を含む）において工学に対する意欲とその適性を評価し、その結果を総合して選抜します。

◇学力選抜

工業高等学校、高等学校の工業に関する学科、高等学校の普通科及び理数科に関する学科のいずれかを卒業した人又は卒業見込みの人を出願の条件とします。在籍（出身）学校長から提出された調査書において、本校の専門教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有しているかを評価し、学力検査（一般科目及び専門科目）から本校における専門科目を修得するための能力を有しているかを評価し、その結果を総合して選抜します。

選抜の方法等

入学者の選抜は次の方法で行います。

工業高校系  推薦選抜
学力選抜

普通高校系——学力選拔

募集コース・編入学年・募集人員

選抜区分		検査日	募集コース	編入 学年	募集 人員
工業高校系	推薦選抜	令和４年 7月20日(水)	エネルギーコース 応用化学コース 環境生命コース メカニクスコース 情報システムコース 建築コース	第4学年	若干名
	学力選抜	令和４年 8月19日(金)	応用化学コース 環境生命コース		
普通高校系					

Ⅱ 系・コースの紹介

環境・エネルギー工学系

【教育上の目的】

自然と向き合い、環境問題、エネルギー問題及び食糧問題などの諸課題に取り組む技術者の育成を目指しています。

そのために、以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科への勉学の意欲が高く、実験が好きな人
- 2) より高度な専門知識を身につけようとする意欲がある人
- 3) さまざまな事柄に科学的な興味をもつことができる人

【コース紹介】

エネルギーコース

エネルギーコースでは、地球環境への配慮と持続成長可能性を考慮しながら新エネルギーの開発・利用、エネルギーの効率的な変換などに関する知識を身につけ、様々な分野で発展したエネルギー関連技術を駆使し、環境との調和を図るとともに、諸課題に対応し得る技術者の育成を目指しています。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) さまざまな自然現象に興味をもち、積極的に勉強する意欲がある人
- 2) 実験や工作に興味をもち、人と協力してものごとに取り組むことができる人
- 3) エネルギーや環境問題に関心をもち、技術を介して社会に貢献する意志がある人

応用化学コース

応用化学コースでは、化学の基礎学力及び基礎技術力を有し、持続成長可能性を考慮しながら、新たな素材創成や機能の付与並びにその評価ができる知識、技術を修得し、さらに周辺分野の知識を有し、化学的手法を用いて諸課題を解析・対応・解決することができる実践的技術者の育成を目指しています。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 他の人の考えを聴き、自分の考えを表現できる能力の向上に意欲がある人
- 2) 他の人と協力して長時間の実験にも集中して根気強く取り組むことができる人
- 3) 基本的な生活習慣が身についている人

環境生命コース

環境生命コースでは、食糧問題、環境問題、エネルギー問題、資源の有効活用など複雑化・多様化した諸課題に対して生命現象を理解し、環境工学や生命工学に関する知識や周辺分野の知識を有することでバイオテクノロジーを総合的に応用し、解決すべき課題を自らの力で見出し、高い創造性をもって解決できる実践的技術者の育成を目指しています。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 生命現象、生物資源や自然環境に関心をもち、自ら粘り強く学習や実験を続ける意志がある人
- 2) 自分の考えをもち、それを表現でき、さらに人の意見を聴くことのできる協調性がある人
- 3) 基本的な生活習慣が身についている人

【教育上の目的】

人々の生活の質の向上を目指して都市問題、高齢化社会問題などの諸課題に取り組む技術者の育成を目指しています。

そのために、以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科はもちろんのこと、その他のいろいろな分野に興味がある人
- 2) ものの仕組みや原理に関心があり、専門知識を身につけたいと思っている人
- 3) ものづくりを通して人々の生活を豊かにすることに意欲がある人

【コース紹介】

メカニクスコース

メカニクスとは物体の運動に関連した力学を意味します。このコースでは機械力学、材料力学、熱力学、水力学という機械工学のベースとなる4つの力学に関する知識や技術を学びながら、エレクトロニクスや情報通信技術（ICT）との統合が進む近年の幅広いものづくりに対応できる技術者の育成を目指しています。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 機械のメカニズムに興味があり、その知識を専門的に身につけたいと考えている人
- 2) 自らアイデアを出し、科学技術を使ってものづくりをしたいと思っている人
- 3) 地球環境に配慮し、すべての人が豊かに生活できる未来を創造することに関心がある人

情報システムコース

情報通信技術（ICT）を活用した情報システムは、生産、経済、医療、福祉、教育などのあらゆる分野で使われており社会基盤として不可欠なものになっています。情報システムコースでは、(1)コンピュータのソフトウェア及びハードウェア、情報ネットワーク、組み込みシステムなど情報システムに関する基礎学力及び基礎技術力をもつ技術者、(2)情報システムの構築を通して人々の生活の質（QOL）の向上に貢献できる実践的技術者、(3)情報システムとその周辺分野の知識を身につけ社会ニーズに柔軟に対応できる技術者の育成を図ります。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科や語学が好きで、自発的に努力ができる人
- 2) コンピュータやスマートフォンなどの情報通信機器の仕組みに興味がある人
- 3) 情報システムを人々の役に立たせたいと考えている人

建築コース

建築コースでは、建築学と人間社会の関連を認識し、また、自然と共生しながら、安全で、豊かで、魅力的な人間の生活環境を創造することに貢献できる実践的技術者の育成を目指します。また、都市問題・環境問題・高齢化社会問題など、現代の諸問題に対応できる技術者の養成を目指します。そして、建築学と関連する工学分野の知識を身につけ、地域社会のニーズに対応できる技術者の育成を目指します。

そのために、本コースでは以下のような人を歓迎します。

- 1) 数学や理科はもちろんのこと、社会や芸術などいろいろな分野に興味をもち、勉強している人
- 2) 家づくりやまちづくりに興味をもっている人
- 3) 建築の仕事を通して、社会に貢献しようと考えている人

Ⅲ 工業高校系（推薦選抜）

1 出願資格

次の(1)又は(2)に該当し、下の推薦条件(ア)(イ)(ウ)(エ)を全て満たし、在籍学校長が推薦する者とします。

- (1) 工業高等学校を令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校の工業に関する学科を令和5年3月卒業見込みの者

推薦条件

- (ア) 人物が優れていて、技術者としての適性が認められ意欲がある者
- (イ) 合格した場合、編入学することを確約できる者
- (ウ) 工業高校等における1学年から2学年までの全教科目成績5段階評定の平均が4.5以上（小数第2位切捨）の者
- (エ) 卒業時の専門科目修得見込み単位数の合計が25単位以上であること

2 志望コース

志望コースは、在籍学校における所属学科と同系統になります。
なお、不明の場合は、出願前に学生課教務係へお問い合わせください。

3 願書受付

受付期間	令和4年7月4日(月)から7月7日(木)16時00分まで(必着) 原則として郵送（書留）とします。
郵送先	〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150 有明工業高等専門学校 学生課教務係

4 出願手続

次の書類を「入学志願票等記入要領」（10～11 ページ）をよく読んで作成し、在籍学校を経て本校学生課教務係へ郵送してください。

① 編入学志願票、 写真票、受験票	本校所定の用紙を使用すること
② 入学検定料	16,500 円 ※銀行又はゆうちょ銀行から振り込み、ATM（現金自動預払機）及びインターネットバンキングは使用しないこと
③ 推薦書	本校所定の用紙を使用すること
④ 調査書	在籍学校所定の用紙に記入 ※評定欄第3学年は履修中の科目に○を記入 ※修得見込単位数を記載
⑤ 宛名票	本校所定の用紙を使用すること

⑥ 受験票送付用封筒	規格長 4 型 (90×205mm) の封筒に郵便番号・住所・氏名を記入し、344 円分の切手を貼付 ※令和 4 年 4 月現在の料金のため、郵便料金改定があった場合は、改定後の金額分の切手を貼付
------------	---

5 選抜の方法

入学者の選抜は、推薦書、調査書及び面接（口頭試問を含む）の結果を総合して行います。

面接の日時及び場所

日 時	場 所
令和 4 年 7 月 20 日 (水) 9 時 30 分～	有明工業高等専門学校

6 面接当日の注意事項

- (1) 面接当日（7 月 20 日 (水)）は、本校学生課前に 9 時 00 分までに集合してください。
- (2) 受験票、筆記用具を必ず持参してください。
- (3) 上履きは必要ありません。

7 合格者発表

- (1) 発表日時 令和 4 年 7 月 27 日 (水) 10 時 00 分頃
- (2) 発表方法

本校ホームページ (<https://www.ariake-nct.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載するほか、合格者本人及び在籍学校長宛に文書で通知 (当日発送) します。

電話による問い合わせには応じられません。

8 入学確約書の提出

合格通知を受けた場合は、令和 4 年 8 月 3 日 (水) 16 時 00 分まで (必着) に、学生課教務係へ「入学確約書」を郵送 (書留) してください。原則として郵送 (書留) のみとしますが、やむを得ず持参する場合も、上記締め切りまでに提出してください。

9 推薦選抜に不合格となった人の学力選抜の取り扱い

「推薦選抜」の結果、不合格となった人で、「学力選抜」の受験を希望する場合は、次の書類を再度作成し、在籍学校を経て本校学生課教務係へ郵送してください。

- ① 編入学志願票、写真票、受験票
- ② 入学検定料
- ③ 受験票送付用封筒

※調査書及び宛名票の再提出は必要ありません。

10 入学手続

令和 5 年 3 月下旬に「入学説明会」を実施しますので、保護者同伴で出校してください。詳細は、令和 5 年 3 月上旬に書類 (納入金に関する通知を含む) を郵送します。

なお、出校しない場合は、入学の意志がないものとして合格を取り消すことがあります。

Ⅳ 工業高校系 及び 普通高校系 （学力選抜）

1 出願資格

工業高校在籍(出身)者は次の(1)又は(2)に該当し、普通高校在籍(出身)者は次の(3)に該当し、「人物が優れていて、技術者としての適性が認められ意欲がある者」とします。

- (1) 工業高等学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 高等学校の工業に関する学科を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者
- (3) 高等学校の普通科及び理数科に関する学科を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者

2 志望コース

工業高校在籍(出身)者は、在籍(出身)学校における所属学科と同系統になります。

普通高校在籍(出身)者は、応用化学コース若しくは環境生命コースのどちらかになります。

なお、不明の場合は、出願前に学生課教務係へお問い合わせください。

3 願書受付

受付期間	令和4年8月1日(月)から8月4日(木)16時00分まで(必着) 原則として郵送(書留)とします。
郵送先	〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150 有明工業高等専門学校 学生課教務係

4 出願手続

次の書類を「入学志願票等記入要領」(10～11 ページ)をよく読んで作成し、在籍(出身)学校を経て本校学生課教務係へ郵送してください。

① 編入学志願票、 写真票、受験票	本校所定の用紙に必要事項を記入
② 入学検定料	16,500 円 ※銀行又はゆうちょ銀行から振り込み、ＡＴＭ（現金自動預払機）及びインターネットバンキングは使用しないこと
③ 調査書	在籍(出身)学校所定の用紙に記入 ※令和5年3月卒業見込みの者の評価欄第3学年については、履修中の科目に○を記入 ※修得見込(修得)単位数を記載
④ 卒業証明書	既卒者のみ提出すること 出身学校所定の様式
⑤ 宛名票	本校所定の用紙を使用すること
⑥ 受験票送付用封筒	規格長4型(90×205mm)の封筒に郵便番号・住所・氏名を記入し、344円分の切手を貼付 ※令和4年4月現在の料金のため、郵便料金改定があった場合は、改定後の金額分の切手を貼付

5 選抜の方法

入学者の選抜は、調査書及び学力検査の結果を総合して行います。

(1) 検査科目・範囲

学力検査は筆記試験とし、科目及び範囲は次の表のとおりです。

検査科目			工業高校系	普通高校系
一般科目	各コース共通	数学	数学Ⅰ（数と式、方程式と不等式、二次関数、図形と計量） 数学Ⅱ（複素数と方程式、図形と方程式、三角・指数・対数関数、微分積分） 数学A（確率） 数学B（数列）	
		英語	コミュニケーション英語Ⅰ（全範囲） コミュニケーション英語Ⅱ（全範囲）	
専門科目	エネルギーコース	電気回路	直流回路、R、L、Cを用いた直並列交流回路、単相交流電力、回路に関する諸定理、平衡三相回路及び三相電力	
		電磁気学	電荷と電界及び電位とキャパシタンス（静電容量）、電流と磁界、電磁誘導とインダクタンス	
	応用化学コース	工業化学Ⅰ	物質と化学、物質の変化と量、気体の性質と空気、水と溶液、酸と塩基、食塩とアルカリ金属、ハロゲン、元素の性質と化学結合、化学反応と熱・光、酸化と還元、反応速度と化学平衡、放射性物質と原子核エネルギー	化学 化学基礎（物質の構成、物質の変化） 化学（物質の状態と平衡、化学反応の速さと平衡、無機物質、有機化合物）
		工業化学Ⅱ	石油と化学、工業材料と新素材、生命と化学工業	
	環境生命コース	工業化学Ⅰ	物質と化学、物質の変化と量、気体の性質と空気、水と溶液、酸と塩基、食塩とアルカリ金属、ハロゲン、元素の性質と化学結合、化学反応と熱・光、酸化と還元、反応速度と化学平衡、放射性物質と原子核エネルギー	化学 化学基礎（物質の構成、物質の変化） 化学（物質の状態と平衡、化学反応の速さと平衡、無機物質、有機化合物）
		工業化学Ⅱ	石油と化学、工業材料と新素材、生命と化学工業	
	メカニクスコース	機械設計	製図の基礎と製作図、機械に働く力と仕事、材料の強さ、ねじ、軸とその部品、リンクとカム、歯車	
		機械工作	金属材料（炭素鋼、合金鋼、非鉄）、切削加工、研削加工	
	情報システムコース	電気基礎	直流回路、電気と磁気、静電気、交流回路、記号法による交流回路の計算	
		※電子技術 ※情報技術	電子回路素子、アナログ回路基礎、ディジタル回路基礎 電子計算機の基本回路、機能と構成、利用技術の基礎、C++・J A V A ・Cのいずれかによるプログラム作成 ※電子技術、情報技術の2科目から、いずれか1科目を選択してください。	

専門科目	建築コース	建築計画	建築史、住宅計画、環境（音・光・熱・換気）	
		建築構造力学	静定構造物の応力（はり、ラーメン、トラス）、断面の性質	
		建築構法	材料、木構造、鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造	

(2) 学力検査の日時及び場所

期 日	検査科目	時 間	場 所
令和4年 8月19日(金)	数 学	9時20分～10時10分	有明工業高等専門学校
	英 語	10時30分～11時20分	
	専門科目	11時40分～13時10分	

6 学力検査当日の注意事項

- (1) 学力検査当日（8月19日(金)）は、本校図書館棟3階視聴覚室に8時50分までに集合してください。
- (2) 受験票、筆記用具を必ず持参してください。
- (3) 検査室では、鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム及び腕時計（時計機能のみ）以外は使用できません。
- (4) 上履きは必要ありません。
- (5) 携帯電話・スマートフォン・タブレット端末等の電源は切って、カバンの中にしまってください。腕時計型や眼鏡型などのウェアラブル端末を身につけておくことはできません。

7 合格者発表

- (1) 発表日時 令和4年8月26日(金) 10時00分頃
- (2) 発表方法

本校ホームページ (<https://www.ariake-nct.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載するほか、合格者本人にのみ文書で通知（当日発送）します。電話による問い合わせには応じられません。

8 入学手続

令和5年3月下旬に「入学説明会」を実施しますので、保護者同伴で出校してください。詳細は、令和5年3月上旬に書類（納入金に関する通知を含む）を郵送します。

なお、出校しない場合は、入学の意志がないものとして合格を取り消すことがあります。

V 出願上の注意事項及び入学志願票等記入要領

- ◎ 出願書類等は必ず書留郵便とし、封筒の表に「編入学願書」と朱書してください。出願書類等の配達状況は、お持ちの引受番号を用いて、郵便局のホームページから確認できます。
- ◎ 出願書類等に不備がある場合は、受け付けできません。
- ◎ 虚偽の記入があれば、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ◎ 出願手続き後は、書類の返却及び記載事項の変更を認めません。
また、納付済の検定料は返還できません。ただし、次の要件のいずれかに該当する場合は、納入済みの入学検定料を返還します。
 - 1) 入学検定料を振り込んだが本校に出願しなかった場合
 - 2) 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合上記の入学検定料返還要件に該当する場合は、別様式（本校ホームページ参照）により必要事項を記入後、出願予定の願書受付期間終了後に学生課教務係まで速やかに連絡願います。
なお、返金の際の振込手数料は自己負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ 出願書類は、黒か青の万年筆か油性ボールペンを用い、楷書で正確に記入してください。(フリクションボールペン等の消せるボールペンでの記入は不可)
- ◎ ※印の欄は記入しないでください。

編入学志願票・写真票・受験票

1 選抜区分

選抜区分の欄は、受験する選抜区分の番号を○で囲んでください。

2 志願者欄

- (1) 工業高校系の志望コースについては、エネルギー・応用化学・環境生命・メカニクス・情報システム・建築のいずれかを記入してください。
- (2) 普通高校系の志望コースについては、応用化学・環境生命のどちらかを記入してください。
- (3) 入寮希望欄については、有無を○で囲んでください。
- (4) 現住所欄については、本受験に関する連絡をこの現住所宛に行いますので、郵便物が確実に届くように正確に記入してください。
- (5) 学歴欄の学校名については、正式な学校名となるように、都道府県・市区町村私をそれぞれ○で囲んでください。
- (6) 履歴については、高等学校既卒者で、卒業後の職歴・中途退学歴がある場合のみ記入してください。
- (7) 卒業後の連絡先欄については、3月上旬、合格者に入学手続関係の書類をこの宛先に送付しますので、郵便物が確実に届く宛先を記入してください。

3 保護者欄

現住所欄については、志願者の住所と異なる場合のみ記入してください。

4 写真票・受験票・入学検定料振込証明書欄

- (1) 氏名・生年月日・志望学科・出身学校の必要事項を漏れなく記入してください。
 - (2) 写真は、出願前3ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽のもので、大きさは縦 40mm×横 30mm程度、裏面に氏名を記入してください。
 - (3) 写真及び入学検定料振込証明書は、はがれないように貼り付けてください。
- ◎ 誤って入学志願票・写真票・受験票・入学検定料振込証明書を切り離してしまった場合は、カバーアップテープ等（粘着力の弱いもの）で仮留めして提出してください。

入学検定料の納付について

- (1) 銀行から振り込む場合（ゆうちょ銀行以外）
本要項に綴り込みの「入学検定料振込書」により志願者本人の氏名で振り込みの後、「検定料振込証明書（学校提出用）」を「入学検定料振込証明書」貼付欄に貼り付けてください。
 - (2) ゆうちょ銀行から振り込む場合
12 ページに記載の「入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合の注意点」を参照のうえ振り込みの後、「振込依頼書（兼振替払出請求書）」を「入学検定料振込証明書」貼付欄に貼り付けてください。
- ◎ A T M（現金自動預払機）及びインターネットバンキングを利用しないでください。

宛名票

- (1) 推薦選抜の志願者は、1 から 3 の全ての宛名票に、学力選抜の志願者は、2 及び 3 の宛名票に記入して提出してください。
- (2) 志願者及び高等学校の住所・氏名欄については、郵便物が確実に届くように記入してください。（マンション・アパート名、部屋番号まで記載すること）
- (3) 郵便切手を貼る必要はありません。

VI 入学者選抜における障害等を理由とした合理的配慮の提供について

有明工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上又は修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する場合は、下記の期日を目安に早めにご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、下記の期日を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、生徒、生徒の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

なお、入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 高等学校、特別支援学校高等部等の支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても学生課教務係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」をされることをお勧めします。入試後又は入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談期日（目安）

推薦選拔出願希望者 6月22日(水) 16時まで
学力選拔出願希望者 7月4日(月) 16時まで

Ⅶ 個人情報の保護について

入学志願者から提出された関係書類に記載されている情報及び選抜に用いた成績・評価など取得した個人情報は、入学者選抜の資料としての利用及び次の目的以外には使用しません。

- (1) 入学後の教育・指導及び緊急連絡先
- (2) 入学料・授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

Ⅷ 入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合の注意点

入学検定料はゆうちょ銀行からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込はできません。
ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- (2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用することは出来ません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（兼振替払出請求書）（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- (3) 振込後は「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（兼振替払出請求書）（以下参照）」を受領してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（兼振替払出請求書 サンプル）

振込依頼書（兼振替払出請求書）[電信扱い]		「ゆうちょ銀行」以外の銀行宛	
※太枠からはみ出さないようにボールペンではっきりとご記入ください。 ※□印は、該当の項目に印をつけてください。 ▲ 宛先口座の場合は通帳に記号のある方のみご記入ください。			
ご依頼日 年 月 日		※料金は、振込金とは別に、払出口庫の預り金からいただきます。 ※お受取人宛にお取扱いできません。	
金融機関名	☐ 銀行 ☐ 信金 ☐ 信託 ☐ 農協 ☐ その他	支店名	支店
お受取人	預金種目 ☐ 1 普通 (定期) ☐ 2 当座 ☐ 4 貯蓄 ☐ 9 その他 ()	口座番号	金額
フリガナ	※金額の欄に「¥」をご記入ください。		
おなまえ	様		
おとこ	郵便番号 (-)		
フリガナ			
おなまえ	様		
ご依頼人	日中ご連絡先電話番号	通知番号	
払出口庫番号	※お受取人宛に通知を希望される番号(最大10桁)がある場合 (お名前の前に数字を入れる場合)に左記でご記入ください。		
払出口庫名義人(代理人)	おとこ	おなまえ	様
郵便番号 (-) ※口座名義人がご依頼人の場合、ご記入は不要です。		お届け印	

IX 学 校 案 内

本校は昭和 38 年に創設され、中学卒業者を対象とした 5 年制の国立高等教育機関です。各学年の定員は 200 名で、学生総定員は、1,000 名です。卒業生は 8,680 名にのぼり、各分野において広く社会の期待に応じて活躍しています。高専を卒業すると、「準学士」という称号が授与されます。

また、高専 5 年間の教育課程の上に、より高度な専門知識と技術を教授し、創造的な研究開発や先端技術に対応できる人材を育成するため、平成 13 年に 2 年制の専攻科課程が設置されました。専攻科課程を修了すれば、大学改革支援・学位授与機構から、「学士」の学位を取得できます。

IX-1 校訓：「進取創造」「和神養素」「友愛協調」

「進取創造」：新たな価値を創造する能力を身につけ、社会や技術の変化に対応できる自己啓発・向上能力に富み、国際社会で活躍できる実践的技術者の育成を目指すこと

「和神養素」：平素から落ち着いて勉学に励み、幅広い工学基礎と豊かな教養を身につけ、一人ひとりが、多様な個性・能力を伸ばし、自主的に学んでいくことができる実践的技術者の育成を目指すこと

「友愛協調」：個人としての責任を果たし、個人や社会の多様性を尊重し、お互いに支え合い、社会に参画することができる人材及び学際的技術分野で活躍するのに十分に優れた協同活動能力をもつ実践的技術者の育成を目指すこと

IX-2 教育理念と学習・教育到達目標

有明高専では教育理念として「幅広い工学基礎と豊かな教養を基盤に、創造性、多様性、学際性、国際性に富む実践的な高度技術者の育成を目指す」と定めています。この教育理念にしたがって、人に優しい、自然と共存できる技術の開発に携わり、環境問題・食糧問題・エネルギー問題・自然災害問題・高齢化社会問題・都市問題など今日的な諸課題について柔軟に対応できる技術者を育成することを目指しています。そのために、以下の学習・教育到達目標を掲げています。

学習・教育到達目標

(A) 豊かな教養と国際性

- (A-1) 考察力：地球的視野から物事を多面的に理解できること
- (A-2) 倫理観：社会や自然の中での技術の役割を理解し、技術者としての責任を自覚できること
- (A-3) コミュニケーション能力：適切かつ円滑に読解・表現ができること

(B) 専門知識と学際性

- (B-1) 基礎知識：専門分野の基礎となる内容を理解していること
- (B-2) 専門知識：専門分野の内容を理解していること
- (B-3) 実践力：実験・実習等の内容を理解・実行・考察できること
- (B-4) 学際的知識：様々な分野の知識と技術を理解し、複合的に活用するための視野をもっていること

(C) 創造性とデザイン能力

- (C-1) 課題探究力：自ら課題を発見し、その本質を理解できること
- (C-2) 課題解決力：身につけた教養と実践力を活用し、課題を解決できること

IX-3 教 育 課 程

入学後修得できる専門科目及び単位数は、令和4年4月1日現在では次のとおりです。

※ 学外実習、特別講義は、普通の授業形態とは異なりますが、一定の条件を満たせば単位修得が認められる科目です。

	エネルギー コース	単 位 数	応用化学 コース	単 位 数	環境生命 コース	単 位 数	メカニクス コース	単 位 数	情報システム コース	単 位 数	建築 コース	単 位 数
必修科目	応用数学Ⅰ	2	応用数学Ⅰ	2	応用数学Ⅰ	2	応用数学Ⅰ	2	応用数学Ⅰ	2	応用数学Ⅰ	2
	応用数学Ⅱ	1	応用数学Ⅱ	1	応用数学Ⅱ	1	応用数学Ⅱ	1	応用数学Ⅱ	1	応用数学Ⅱ	1
	創造設計基礎演習	1	創造設計基礎演習	1	創造設計基礎演習	1	創造設計基礎演習	1	創造設計基礎演習	1	創造設計基礎演習	1
	技術者倫理	1	技術者倫理	1	技術者倫理	1	技術者倫理	1	技術者倫理	1	技術者倫理	1
	環境工学	1	環境工学	1	環境工学	1	福祉人間工学	1	福祉人間工学	1	福祉人間工学	1
	エネルギー工学	1	エネルギー工学	1	エネルギー工学	1	情報福祉工学	1	情報福祉工学	1	情報福祉工学	1
	電気回路Ⅱ	2	有機化学Ⅱ	2	有機化学Ⅱ	2	熱力学	2	アルゴリズムⅠ	1	建築計画Ⅱ	2
	電気磁気学Ⅱ	2	物理化学Ⅱ	1	無機化学Ⅱ	1	水力学	2	アルゴリズムⅡ	1	福祉環境計画	2
	電気電子材料	1	化学工学	2	物理化学Ⅱ	1	計測制御Ⅰ	1	離散数学Ⅰ	1	西洋建築史	1
	制御工学Ⅰ	1	無機化学Ⅱ	1	物理化学Ⅲ	1	計測制御Ⅱ	1	離散数学Ⅱ	1	都市計画	1
	制御工学Ⅱ	1	生物化学Ⅱ	1	化学工学	2	計測制御Ⅲ	2	数値計算法Ⅰ	1	近代建築史	1
	電気電子設計	2	有機化学Ⅲ	1	生物化学Ⅱ	1	メカトロニクス基礎Ⅰ	1	システムプログラム	2	建築環境工学Ⅱ	2
	エネルギー工学演習	1	物理化学Ⅲ	1	生物反応工学	1	メカトロニクス基礎Ⅱ	1	情報システム演習Ⅲ	1	建築設備Ⅰ	2
	エネルギー工学実験Ⅱ	2	物理化学Ⅳ	1	生物工学基礎	1	材料学Ⅱ	2	情報システム演習Ⅳ	1	建築設備Ⅱ	1
	エネルギー工学実験Ⅲ	2	材料化学	1	材料化学	1	材料学Ⅲ	1	コンパイラ	2	構造力学Ⅱ	2
	エネルギー変換工学	2	機器分析学Ⅰ	2	微生物工学	1	材料力学Ⅱ	2	情報理論Ⅰ	1	構造力学Ⅲ	2
	電力発生工学	1	生物工学基礎	1	生物有機化学	1	材料力学Ⅲ	2	情報理論Ⅱ	1	鉄筋コンクリート構造Ⅰ	1
	電力輸送工学	1	反応工学	1	生物物理化学	1	機械要素設計	2	電気回路Ⅰ	1	鉄筋コンクリート構造Ⅱ	1
	パワーエレクトロニクス	1	微生物工学	1	プロセスシステム工学	1	機械力学	2	電子回路Ⅰ	2	鋼構造Ⅰ	1
	電子デバイス工学	1	プロセスシステム工学	1	生物工学	2	流体力学	1	電子回路Ⅱ	1	鋼構造Ⅱ	1
	電子回路Ⅰ	1	生物工学	2	機器分析学Ⅰ	2	基礎塑性力学	2	半導体工学	2	構造計画	1
	電子回路Ⅱ	1	高分子化学Ⅰ	2	高分子化学Ⅰ	2	溶融加工	2	電子工学実験Ⅱ	1	建築振動学	1
	計算機工学	1	応用化学実験Ⅲ	1	環境生命実験Ⅲ	1	コンピュータ工学	1	電子工学実験Ⅲ	1	基礎構造	1
	基礎通信工学	1	応用化学実験Ⅳ	1	環境生命実験Ⅳ	1	数値計算法	1	電磁気学	2	建築材料Ⅱ	1
	卒業研究Ⅰ	2	応用化学総合実験	1	生物工学実験	1	創造設計演習Ⅰ	2	コンピュータ・アークテチャⅠ	1	建築材料実験	1
	卒業研究Ⅱ	8	卒業研究Ⅰ	2	卒業研究Ⅰ	2	創造設計演習Ⅱ	3	コンピュータ・アークテチャⅡ	1	建築生産	2
			卒業研究Ⅱ	9	卒業研究Ⅱ	9	専門工学実験Ⅰ	1	情報ネットワーク	2	建築法規	2
							専門工学実験Ⅱ	1	組み込みシステム実験Ⅰ	1	建築設計演習Ⅲ	3
							専門工学実験Ⅲ	2	組み込みシステム実験Ⅱ	1	建築設計演習Ⅳ	3
							卒業研究Ⅰ	3	卒業研究Ⅰ	2	建築実験実習	1
							卒業研究Ⅱ	9	卒業研究Ⅱ	8	卒業研究Ⅰ	1
											卒業研究Ⅱ	8
											3科目から1科目選択	
											卒業設計	4
											設備設計演習	4
											構造設計演習	4
選択科目	高電圧工学	1	電気工学基礎Ⅰ	1	電気工学基礎Ⅰ	1	工業英語	1	ソフトウェア工学	2	都市デザイン	1
	エネルギー資源	2	電気工学基礎Ⅱ	1	電気工学基礎Ⅱ	1	伝熱工学	1	信号処理	2	ユニバーサルデザイン	1
	エネルギーシステム	2	機械工学基礎Ⅰ	1	機械工学基礎Ⅰ	1	流体工学	2	データベース	2	建築設計演習Ⅴ	2
	エネルギー応用	1	機械工学基礎Ⅱ	1	機械工学基礎Ⅱ	1	電気電子工学Ⅰ	1	人工知能	2		
	電気法規	1	品質管理	1	品質管理	1	電気電子工学Ⅱ	1	数値計算法Ⅱ	1		
	デジタル回路	1	化学英語	1	酵素化学	1			制御工学Ⅰ	1		
	信頼性工学	1	機器分析学Ⅱ	1	生態学	1			制御工学Ⅱ	1		
	物理化学概論	1	環境化学	1	食品工学	1			通信工学	2		
	熱力学	1	高分子化学Ⅱ	1	生物工学演習Ⅰ	1						
	内燃機関	1	機能材料工学	1	生物工学演習Ⅱ	1						
	伝熱工学	1	工業材料	1	細胞生物学	1						
			応用化学演習Ⅰ	1	機器分析学Ⅱ	1						
			応用化学演習Ⅱ	1	環境化学	1						
授業外科目	学外実習	1	学外実習	1	学外実習	1	学外実習	1	学外実習	1	学外実習	1
	〃	2	〃	2	〃	2	〃	2	〃	2	〃	2
	特別講義	1	特別講義	1	特別講義	1	特別講義	1	特別講義	1	特別講義	1

IX-4 経費・免除制度・奨学金・学生寮

入学に要する諸経費

- 入学料 84,600 円（予定額）
- 教科書等購入費 約 50,000 円
- その他の経費 29,000 円（学生会、同窓会及び後援会の会費等）

授業料は次のとおり予定されています。

年額 234,600 円（前期分 117,300 円、後期分 117,300 円）

入学料免除・徴収猶予制度

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡した場合、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合など、特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる者には、申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

授業料免除・徴収猶予制度

入学前1年以内において学資負担者が死亡した者、風水害等による災害を受け納付困難と認められる者には、申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

高等教育の修学支援制度

住民税非課税世帯及びそれに準じる世帯の日本人学生を対象に、日本学生支援機構の給付奨学金に加え、入学料・授業料の減免による支援が実施されます。

奨学金制度

人物・学業成績ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難な学生に対し、申請に基づき選考のうえ、学資を貸与する又は給付する制度があります。下の表は日本学生支援機構の奨学金を例に挙げています。

（R3年度参考）4・5年生（月額）

区分	自宅	自宅外
第一種奨学金	20,000 円、30,000 円又は 45,000 円	20,000 円、30,000 円、40,000 円 又は 51,000 円
第二種奨学金	20,000 円から 120,000 円までの 10,000 円単位の金額を選択可能	

※各種制度の内容は本要項作成時点のもので、今後変更される可能性があります。

学生寮

男子寮及び女子寮があります。寮費は食費を含み月額約 45,000 円です。

入寮希望者が収容可能人員を超える場合は選考を行います。

また、疾病その他の理由により寮での共同生活が困難であると認められる場合は入寮できないこともあります。

IX-5 卒業後の進路

就 職

本校は、昭和43年3月から卒業生を送り出し、多くの卒業生が産業界で活躍しています。
例年数多くの会社から求人があり、就職希望者の就職率は毎年ほぼ100%です。

過 去 3 年 間 の 卒 業 生 の 主 な 就 職 先

エネルギーコース (旧電気工学科)	応用化学コース 環境生命コース (旧物質工学科)	メカニクスコース (旧機械工学科)	情報システムコース (旧電子情報工学科)	建築コース (旧建築学科)
アマゾンジャパン合同会社 (株)NHKテクノロジーズ NTT 東日本グループ 大阪ガス(株) オリンパス(株) 関西電力(株) キヤノン・イカルシステムズ(株) 九州電力(株) 九電テクノシステムズ(株) KM バイオロジクス(株) KDDI エンジン・エレクトロニクス(株) (独) 国立印刷局 SUBARU テクノ(株) 西部電機(株) ソニー・セミコンダクタマニュファクチャリング(株) 東海旅客鉄道(株) 東京エレクトロニクスグループ 東芝情報システム(株) 西日本旅客鉄道(株) パナソニックシステムソリューションズ・ジャパン(株) (株)日立産業制御ソリューションズ 富士通クラウドテクノロジー(株) 三井化学(株) (株) 三井三池製作所 三菱電機 エンジン・エレクトロニクス(株) (株)安川電機	旭化成(株) キリンビール(株) KM バイオロジクス(株) 沢井製薬(株) (株)資生堂 昭和電工(株) 住友精化(株) 三洋化成工業(株) サントリーグループ ダイキン工業(株) 大日精化工業(株) 第一三共ケミカルファーマ(株) DIC(株) デンカ(株) 東レ(株) (株)日本触媒 ニプロ(株) 富士フィルム和光純薬工業(株) ヴァリオア・エネツ(株) 三井化学(株) (株)明治 ユニチカ(株)	(株)IHI 旭化成(株) ANAラインメンテナンス(株) ENEOS(株) [旧 JXTG エネルギー] 出光興産(株) 王子マテリア(株) (株)オーレック 花王(株) キヤノン(株) キヤノンシステムアンドサポート(株) 九州電力(株) キリンビール(株) KM バイオロジクス(株) サントリースピリッツ(株) (株)JAL エンジン・エレクトロニクス JX 金属(株) 竹田設計工業(株) (株)テルモ 東海旅客鉄道(株) 東芝エレベータ(株) 東レ(株) トヨタ自動車(株) (株)ニコン 日産自動車九州(株) 日本たばこ産業(株) ファナック(株) (株)ブリヂストン 本田技研工業(株) 三井化学(株) ヤンマー建機(株) (株)LIXIL	(株)NTTファシリティーズ九州 (株)大林組 (株)キューハウ 九州電力(株) (株)構造 FACTORY 五洋建設(株) 佐藤工業(株) 清水建設(株) 新菱冷熱工業(株) 住友不動産(株) 住友林業ホームテック(株) (株)TAK-QS (株)第一ビューテック 大和リース(株) 高砂熱学工業(株) (株)竹中工務店 東京ガス(株) 戸田建設(株) トランスコスモス(株) 西日本旅客鉄道(株) 日軽パネルシステム(株) (株)フジタ 松尾建設(株) 三井住友建設(株) 三菱ケミカル・エンジニアリング(株) 若築建設(株)	

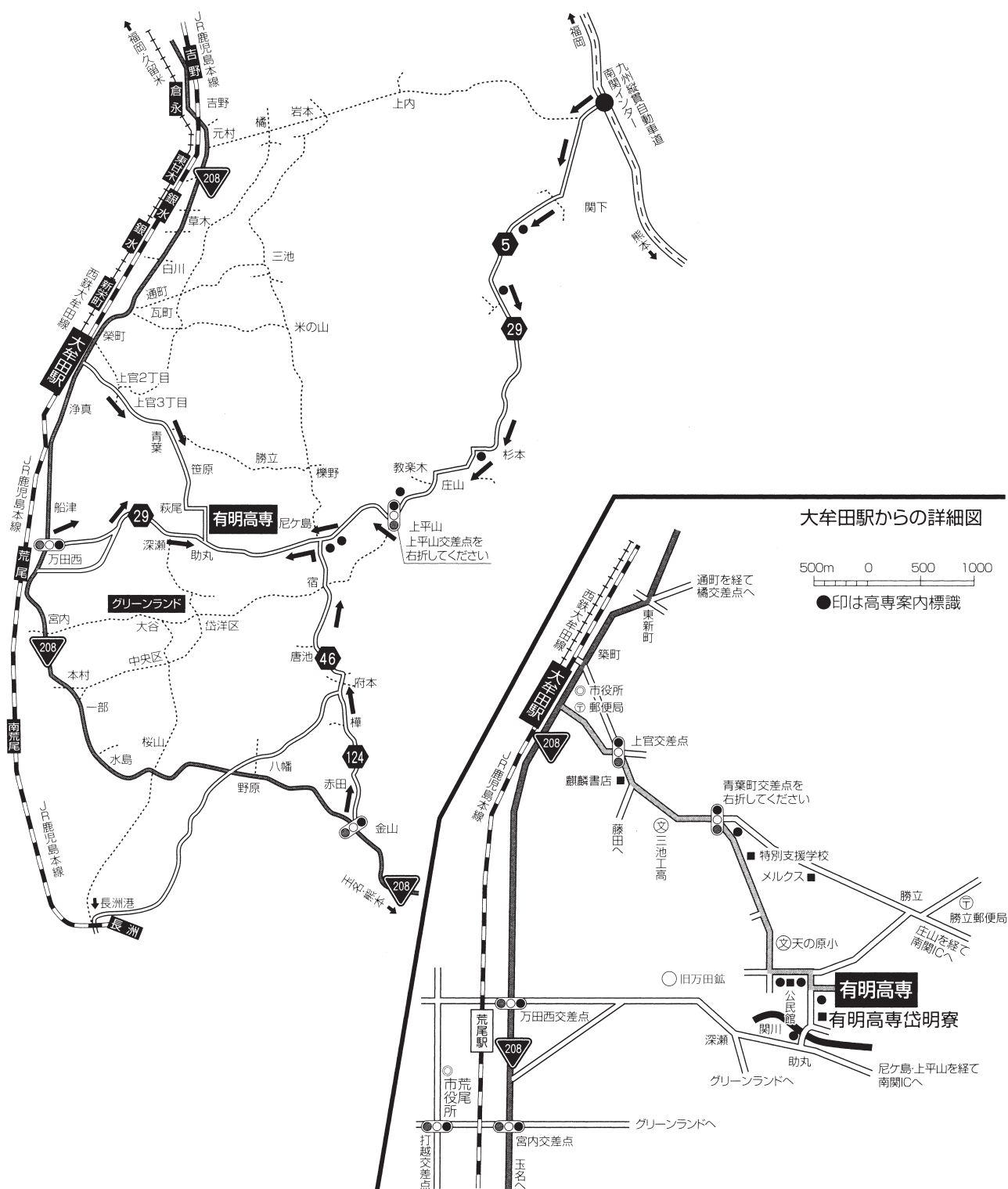
進 学

卒業後、もっと勉強を望む学生のために高専専攻科への進学や4年制大学3年次編入学の道が開かれています。

卒 業 生 の 主 な 進 学 先

大学名	進学年度	30 年度	31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
有 明 高 専 専 攻 科		31	34	27	30	31
豊 橋 技 術 科 学 大 学		4	4	4	6	2
長 岡 技 術 科 学 大 学			1			1
九 州 大 学		1	1	2	2	1
九 州 工 業 大 学		4	3	8	7	4
佐 賀 大 学		5		1	1	3
熊 本 大 学		3	7	3	3	9
宮 崎 大 学			1	1	1	
鹿 児 島 大 学					1	2
東 京 工 業 大 学					1	
東 京 農 工 大 学				1	1	
東 京 海 洋 大 学					1	
千 葉 大 学					1	
北 海 道 大 学				1		
京 都 造 形 芸 術 大 学				1		

IX-6 有明工業高等專門学校案内図



令和5年度 編入学推薦書

受験番号

※

令和 年 月 日

有明工業高等専門学校長 殿

所在地

学校名

学校長名

印

下記の者は、学業成績・人物ともに優れ、貴校に編入学するのにふさわしい者と認め推薦します。

ふりがな			
氏名		志望コース	コース
(推薦所見)			

(注) 推薦所見は、人物、能力、適正等具体的に記入してください。

※印は、記入しないでください。

令和5年度 編入学志願票

有明工業高等専門学校

選 抜 区 分		1	推薦選抜	受験番号	※
		2	学力選抜	志望コース	コース
志 願 者	ふ り が な				
	氏 名				
	生 年 月 日	平成 年 月 日生	男・女	入学後の入寮希望	有 ・ 無
	現 住 所	〒 ー			
	電 話 番 号	()			
	学 歴	都 道 府 県		市 区 町 村 私 立	中学校
		平成・令和 年 月 卒業			
		都 道 府 県		市 区 町 村 私 立	高等学校
	令和 年 月 卒業・卒業見込				
高 等 学 校 の 電 話 番 号	()				
卒 業 後 の 連 絡 先	〒 ー TEL ()				
履 歴					
保 護 者	ふ り が な				
	氏 名				
	現 住 所	〒 ー (志願者の住所と異なる場合のみ記入してください)			
	電 話 番 号	()			

記入上の注意

- 1 記入要領は、10～11 ページを参照してください（※の欄は記入しないでください）。
- 2 普通高校系の志望可能なコースは、「応用化学コース」若しくは「環境生命コース」となります。
- 3 選抜区分の欄は、受験する選抜区分の番号を○で囲んでください。

令和5年度編入学写真票

有明工業高等専門学校

受 験 番 号	※
ふ り が な	
氏 名	
生 年 月 日	平成 年 月 日生
志 望 コ ー ス	コース
○大きさ たて 40mm×よこ 30mm ○写真は出願前3ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽のもの。 ○写真の裏面に氏名を記入してください。 ○写真裏全面にのりをつけて貼り付けてください。 高等学校	

令和5年度編入学受験票

有明工業高等専門学校

受 験 番 号	※	
ふ り が な		
氏 名		
志 望 コ ー ス	コース	
○推薦選抜		
日 時	受験者集合	面接開始
7月20日(水)	9:00	9:30～
○学力選抜		
日 時	検査科目	時 間
8月19日(金)	受験者集合	8:50
	数学(50分)	9:20～10:10
	英語(50分)	10:30～11:20
	専門科目(90分)	11:40～13:10
受験上の注意 1. この受験票は必ず持参してください。 2. 携帯電話・スマートフォン・タブレット端末等の電源は切って、カバンの中にしまってください。腕時計型や眼鏡型などのウェアラブル端末を身につけておくことはできません。 3. 学力選抜の受験中は、必ず受験票を机の右上に置いてください。 4. 検査室では、鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴムおよび腕時計(時計機能のみ)以外は使用できません。		

受験番号	※
------	---

入学検定料振込証明書

金融機関から受領した検定料振込証明書(学校提出用)をはがれないように貼り付けてください。

志望コース

ふりがな
氏名

入学検定料の納付について

〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150
独立行政法人国立高等専門学校機構

有明工業高等専門学校

この振込書をご利用の上、お振り込みください。

なお、お振り込みの際には、別途手数料が必要となりますのでご注意ください。

1. 入学検定料の納入は各種銀行の窓口にてお願いします。A T M（現金自動預払機）は使用しないでください。
2. 「振込書」の＊欄に、必要事項を正確に記入してください。
3. 「入学検定料振込証明書」は選抜区分に○を付し、別紙「入学検定料払込証明書」に貼付して提出してください。
4. 「領収証」は改めて発行しますので、金融機関から受領した「振込金領収書」を大切に保管してください。

振込書

本件に関するお問い合わせ先は、総務課財務係まで

TEL : 0944－53－8615

入学検定料振込証明書 (学校提出用)

金額	¥16,500-
振込先銀行	福岡銀行 大牟田支店
	普通2500151
＊選抜区分に○を付してください。	
推薦選抜	
学力選抜	
＊志願者氏名	



(取扱店→振込人)

振込金領収書

手数料		円
-----	--	---

依頼日	令和	年	月	日
金額			16500	0
振込先銀行	福岡銀行 大牟田支店 普通2500151			
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 出納命令役 事務局長			
＊志願者氏名				
振込人				

収入紙



(取扱店→振込人)

入学検定料振込通知書

依頼日	令和	年	月	日
金額			16500	0
振込先銀行	福岡銀行 大牟田支店 普通2500151			
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 出納命令役 事務局長			
＊志願者氏名				
振込人				



(取扱店→取りまとめ店
→有明工業高等専門学校)

切り取らないで銀行にお出しください。

振込依頼書

科目	普通預金	手数料		円
----	------	-----	--	---

依頼日	令和	年	月	日	電 信 扱
振込先銀行	福岡銀行 大牟田支店 普通2500151				金額
受取人	(略名)高専機構本部(コウセンキョウホンブ) 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 出納命令役 事務局長				現金 当手 他手
振込人	＊(フリガナ) ＊氏名 ＊(住所) ＊(TEL)				165000 出納印・振替印
備考	有明工業高等専門学校検定料				



(取扱店用)

宛名票

- 1 推薦選抜志願者は、1 から 3 の全ての宛名票に記入してください。
- 2 学力選抜志願者は、2 及び 3 の宛名票に記入してください。
- 3 ※印欄は記入しないでください。
- 4 「殿」「様」はそのまま修正などはしないでください。

1. 選抜結果通知送付用

(在籍学校の住所・学校名・連絡先)

□□□-□□□□	

----- 高等学校長 殿	
連絡先	※
— —	

2. 選抜結果通知送付用

(志願者の住所・氏名・連絡先)

□□□-□□□□	

----- 様	
連絡先	※
— —	

3. 入学手続書類送付用

(志願者の住所・氏名・連絡先)

※ 3 月上旬送付予定

□□□-□□□□	

----- 様	
連絡先	※
— —	

入試に関する問い合わせ、出願書類の請求先

独立行政法人 国立高等専門学校機構
有明工業高等専門学校

学生課 教務係

電 話 0944-53-8622
FAX 0944-53-8862
E-mail gakkyo-staff@ml.ariake-nct.ac.jp
〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町 150

【請求方法】

レターパックライト（郵便番号・宛先を記入し必要部数を明記）を同封して申込んでください。

なお、レターパックライト1つにつき、募集要項を最大5部同封しますので、必要部数に合わせてレターパックを同封してください。